

自動ドア保守点検業務

1. 業務の内容

施設の搬入車両自動扉開閉装置を正常かつ円滑に使用できるよう保守点検をするものです。

2. 保守点検の対象物

- (1) オーバースライダー 1 台
スタンダード型・スチールタイプ・電動式
- (2) 自動ドアWスライド引分 (DC-10F) 2 台
付属機器
 - ① 駆動装置
 - ② 制御装置
 - ③ 扉懸架部
 - ④ 操作部(操作スイッチ・二次側配線)

3. 保守点検の方法

機器の保守点検については、次のとおりとする。

- (1) 定期点検
 - ① オーバースライダー 年 2 回 (5 月・11 月)
 - ② 自動扉Wスライド引分 年 2 回 (5 月・11 月)
- (2) 緊急点検 (オンコール)

機器に故障等が発生した場合、受託者は速やかに必要な点検修理を行うものとする。

4. 保守点検の項目

機器の保守点検の項目は次のとおりとする。

- (1) オーバースライダー
開閉機関係、スプリング、ワイヤーロープ、丁番類、ストッパー、ガイドレール、パネル、巻き取りシャフト
- (2) 自動扉Wスライド引分
 - ① 駆動装置 モーター (150W DC ブラシレスモーター 歯付ベルト方式)、プーリー、ベルト・ワイヤー・チェーンの伸び、ゆるみ、破損、作動時の円滑性、駆動装置の締結ゆるみ、磨耗度、開閉速度、クッション、開閉力、異音。
 - ② 扉懸架部 レールの曲がり、下り、勾配、偏摩耗、ゆるみ、吊り車の磨耗、締結のゆるみ、踊り、扉の下り、上下のチリ、召し合わせ、戸当たりゴムの摩耗、振れ止めの摩耗、手動抵抗、共振騒音、ガイドレール内の異音。
 - ③ 電 気 コントローラー、電源電圧、絶縁抵抗、漏電、配線のひっかかり、断線、端末結線のゆるみ。
 - ④ 検出装置 起動スイッチの固定、リード線処理、感度、感知範囲、誤作動。

5. 保守点検の内容

機器の保守点検の内容は次のとおりとする。

- (1) 異常の有無の点検
- (2) 機器の清掃、注油及び一般調整
- (3) 機器の自然消耗部品の修復、部品交換及び調整
- (4) 機器の障害の修復及び分解清掃

6. その他

- (1) 受託者は業務の実施にあたり、安全教育を実施し常に安全作業を遵守させることとする。
- (2) 交換部品が発生した場合は受託者が負担するものとする。
- (3) 受託者は保守点検結果を速やかに報告書にて当組合に提出することとする。